

競技上の注意

A 競技上の注意

- ・現行の日本卓球ルールに従って競技してください。
- (1) タイムアウト制は、準決勝から採用します。
- (2) 試合球はニッタクおよびVICTASを用意します。コートにある使用球と違うメーカーを使用する場合、本部まで取りに来てください。
- (3) 学校対抗において、2台進行で行うこともあります。その際、ダブルスが試合中であっても、4番目の対戦ができるようであれば4番目のゲームを開始してください。
- (4) 学校対抗の決勝および3位決定戦は進行によって4シングルを先におこなうこともあります。
- (5) 今大会はシングルの1～3回戦までをめぐり、可能であればベンチコールを行いますので、試合の進行、放送に注意をしてください。
- (6) 勝者報告、敗者審判ですので、試合に負けた選手はその場で待機をしてください。
- (7) 各コートにストップウォッチを用意しますので、ゲーム前の練習(2分)、ゲーム間(1分)、タイムアウト(1分)を審判は計測してください。
- (8) 今大会のベンチコーチは、登録顧問ならびに外部指導者のみとします。
- (9) フロアに入る選手、コーチは前面が白い上着を避け、また、競技中の選手を除いて、白以外のマスクを着用すること。
- (10) 出場する選手はコートに入る際にはトレーニングウェアを脱ぐこと。また学校対抗、ダブルスのユニフォームについては、各チームまたは各組でユニフォームを統一すること。前面が白い割合の多いユニフォームの着用はできません。
- (11) 学校対抗でベンチに入ることができる選手は8名までです。
- (12) 3日(金)の午後にシングルの一回戦を行います。ただし、3日(金)でシングルスが終了する学校が出ることがないように、配慮してコールを行います。

B 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・日本卓球協会新型コロナウイルスガイドラインに従って行いますので、以下の点に注意してください。
- (1) 今大会は、一般の方の観戦はご遠慮ください。
- (2) 選手、審判、顧問、外部指導者以外はフロアに降りることはできません。
- (3) 練習については、時間を守りボールの使い回しは避けて下さい。
- (4) 審判は卓球台よりできるだけ離れ、マスクを着用すること。
- (5) 消毒のため毎試合、試合球を取り替えます。試合に勝った選手は報告の際、記録用紙と試合球をもって本部に来てください。
- (6) 試合前後の挨拶は、卓球台を挟んで行い、ラケット交換は行わないこと。
- (7) 応援や試合中の発声は控えてください。特に、ベンチや観客席で声を出しての応援は控えてください。試合を中断する可能性もありますのでご了承ください。
- (8) 観客席では、横2席、縦1列を空けマスク着用にて着席すること。
- (9) 選手、審判とも試合前後の手洗い、消毒は必ず行ってください。
- (10) 急遽、日程が変更になることがあります。

C 個人戦のベンチコール方式について

◎ 進行方法

- ① ステージ上に男子4コート（8脚）、女子2コート（4脚）、計12脚の椅子を用意。
- ② 進行は男子、女子の第1試合をコール、試合開始。
- ③ 試合開始ののち、次の待機選手（男子4試合分、女子3試合分）をコールし、ステージ上の待機場所に呼ぶ。本部にて確認、管理。
- ④ 試合が終了し、勝者が結果を進行に報告。
- ⑤ 次の対戦の記録用紙を本部の待機選手に渡し、2試合目開始。
- ⑥ 以降、待機選手は前の椅子が空いたら、順次前に詰めて座っていく。
- ⑦ 進行は次の待機選手をコールし、ステージ上の待機場所に呼ぶ。
- ⑧ 以下、④～⑦を繰り返す。

◎ ステージ上のイメージ

